

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 経済発展・貿易相の任命

・23日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ポロシェンコ・ウクライナ中央銀行理事(前外相)を経済発展・貿易相に任命する大統領令を発出。

#### 大統領の動き

・18日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ロシア訪問に先立ち、「イタルタス通信」のインタビューにおいて、ロシア語に第二国家語の地位を付与する可能性に言及。これに関し、19日、リトヴィン最高会議議長は、本件は非現実的である旨発言。

・21日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国内の宗教指導者等との会合を開催。

・22日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ザポリヅジャを訪問し、航空機エンジン製造企業「モートル・シーチ」及びザポリヅジャ州小児科病院等を視察。

#### その他

・17日、第13回地域党大会及び第2回「強いウクライナ」党大会が開催され、「強いウクライナ」党(ティヒプロコ党首)は解散し、地域党に統合する旨発表、地域党副党首にティヒプロコ副首相を選出。

・19日、ブラホトニク・ティモシェンコ前首相弁護人は、高等特別裁判所は2009年対露ガス契約に関する有罪判決を不服とするティモシェンコ前首相の上告審を5月15日に実施する可能性がある旨発言。

### 2. 経済

#### マクロ経済

・21日、中央銀行は、2011年の国及び民間の外国からの負債が対前年比で89億ドル増加し、2012年1月時点においてGDPの76.6%に当たる1,262億ドル、国の負債は2.7%増加し、GDPの20.2%に達した旨を報告。

#### 自由貿易

・21日、エフレーモフ地域党最高会議会派代表は、CISとの自由貿易協定はまだ最高会議に提出されておらず、大統領府において審議中である旨報告。

#### 年金

・19日、クラフチャク年金基金第一副長官は、年金の不足が301億フリヴニャに達したものの、閣僚会議は97億フリヴニャを国家予算でカバーするとした年金基金の財政計画を承認した旨を報告。

#### ガス問題

・17日、ヤヌコーヴィチ大統領は、露テレビ番組において、ガス問題はウクライナ・露関係で唯一未解決の問題であり、

伝統的に友好な両国は双方が受け入れ可能な解決策を見出さなければならない旨発言。

・20日、最高会議は、ナフトガスの再編を可能とする一方ナフトガス及びガス輸送システムの民営化を禁じる「ナフトガス再編に関する法案」を第一読会で採択。

・22日、ボイコ・エネルギー・石炭産業相は、ブリュッセルにおいてエッティンガー・エネルギー担当欧州委員と会談し、EUに対しウクライナのガス地下貯蔵施設の利用を提案。双方は、欧州エネルギー市場におけるウクライナの役割及びウクライナのガス輸送システム近代化のための資金調達問題等に関し協議の上、エネルギー分野における協力に関する共同声明に署名。同日、同相は、フューレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員と会談し、欧州のエネルギー安全保障問題及びウクライナのエネルギー計画等に関し協議。

### 3. 外政

#### ヤヌコーヴィチ大統領のモスクワ訪問(19～20日)

・17日、ヤヌコーヴィチ大統領は、露テレビ番組において、ウクライナ・露間の貿易における官僚主義的障害の除去の必要性を強調し、CIS自由貿易圏協定に向けた準備作業は進捗している旨及びウクライナの欧州統合は国民生活の向上が目的である旨発言。

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナがオブザーバーとなっているユーラシア経済共同体国家間理事会首脳会合に出席。同大統領に同行したホロシコフスキー第一副首相は、同大統領を団長とするウクライナ代表団は関税同盟(露、カザフスタン、ベラルーシ)との「3+1」フォーマットでの協力関係を提案したものの、会議では深く議論はなされなかった旨発言。

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、「ロシア新聞」のインタビューにおいて、CIS自由貿易圏協定は若干の法的問題の解決後に批准される旨発言。一方、ウクライナは欧州統合に向け欧州基準の環境整備を進めている旨強調。

・20日、ヤヌコーヴィチ大統領は、プーチン首相と会談し、同首相が新大統領に選出されたことに対し祝意を表明し、ウクライナ・露二国間委員会の早期開催及び両国経済関係の活性化の必要性を指摘。

・20日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ルプ・モルドバ大統領代行兼議会議長と会談し、ウクライナ・モルドバ二国間関係の発展に関し協議。ヤヌコーヴィチ大統領は、また、モルドバ新大統領にティモフティ氏が選出されたことに対し祝意を伝達。

#### 核安全保障サミットに向けた動き

・20日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ソウルにおける核安全保

障サミット出席に先立ち、韓国連合ニュースのインタビューに応じ、2010年4月の米ウクライナ間共同声明に基づくウクライナの高濃縮ウランの国外移送はほぼ完了した旨発言。

・22日、ウクライナ外務省は、国内最後の高濃縮ウランをハルキフ物理技術研究所からロシアへ移送を完了した旨発表。

#### アザーロフ首相のポーランド訪問

・21日、アザーロフ首相は、ポーランドを訪問し、コモロフスキ・ポーランド大統領と会談、ウクライナの欧州統合に対するポーランドの支持に謝意を表明。また、同首相は、2011年は両国の貿易額は60億ドルを超え、対前年比3割増加した旨発言、今後も増加傾向が継続することへの期待を表明。また、同日、同首相は、コパチ下院議長と会談し、ウクライナは民主的選挙プロセスのために外国の選挙監視団を多数受け入れる旨表明。コパチ下院議長は、ティモシェンコ前首相の健康状態に懸念を表明。

・22日、アザーロフ首相は、訪問中のポーランドにてトウスク首相と会談。トウスク首相は、「ユーロ2012」の準備状況を高く評価。両者は、エネルギー分野における協力に関し協議し、アザーロフ首相は、ウクライナからポーランドへの電力供給量の増加を提案。

#### その他

・19日、ヴォローシン外務省情報政策局長は、同日、グリンチェンコ外相が、OSCE民主制度・人権事務所(ODIHR)レナルッチ所長に対し、ウクライナにおける最高会議議員選挙プロセス監視団の組織及び派遣を要請する書簡を送付した旨発表。

・21日、ヴォローシン外務省情報政策局長は、EUとの連合協定の仮署名は30日にブリュッセルにてクリムキン・ウクライナ外務次官及びライチャーク欧州対外活動庁欧州・中央ア

ジア局長により行なわれる旨発表。

## 4 . 防衛

### 20～21日、サラマティン国防相のセルビア訪問

・20日、サラマティン国防相は、セルビアを公式訪問しスタノヴァック・セルビア国防相と会談、軍事教育及び軍事技術等に関する様々な問題を議論。

・21日、同国防省は、コソボにおけるウクライナ平和維持部隊を視察、平和維持部隊の状態は期待を上回るものであり誇りに思う、また派遣部隊の規模が縮小されることはない旨発言。

#### その他

・19日、サラマティン国防相は、チャン・タイ王国陸軍最高司令官とキエフで会談、ウクライナは軍事及び軍事技術産業におけるタイ王国との連携を特に重視している旨発言、また平和維持活動における経験の交換及び軍事教育訓練における協力について議論。

・19日、ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)は、2011年のウクライナの武器輸出額は4億8千4百万ドルであり、世界12位であると発表。

・20日、「コメルサント」新聞は、ロシアがニトカ訓練施設の使用料として年間200万ドルに増額して合意した旨報道。

・21日、国防省は、コンゴ民主共和国へ派遣している平和維持部隊のMi-24ヘリコプターが何者かに攻撃され負傷者が出た旨発表。

(了)